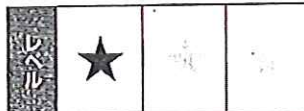


# Unit 02 9 ~ 15



## 9 ~てほしい／もらいたい

意味 ほかの人に対する希望、要求

接続 動詞の【テ形・ないで】

- 1 親には長生きしてもらいたい。
- 2 子どもには、皆に愛される人間になってほしいと思う。
- 3 「みんなに食べてもらいたいと思って、きょうはケーキを焼いて来ました」
- 4 「これはここだけの秘密だから、だれにも言わないでほしい」

㊦ 5 「すみません、ちょっと見てもらいたいものがあるんですけど」

## 10 ~ば／たら／と…たい／のに／よかった など

意味 ①現実ではないことを希望する／残念がる

- 1 もし私が医者だったら、病気で苦しむ人たちを助けてあげられるのに。
- ㊦ 2 「買わないんですか」「ええ、もう少し安ければ買うんですけど」
- 3 もし生まれ変わることができるのなら、次は男（／女）に生まれたい。
- 4 子どもがいなければ、もっと働けるのだが。
- 5 「すみません、説明が下手で。もっとうまく説明できるといいんですが」

意味 ②実現しなかったことを残念がる

- ㊦ 1 もう少し時間があれば、全部できたのに。
- 2 「きのうの交流会、楽しかったよ。鈴木さんも行けばよかったのに」
- 3 あのときもう少し勇気があったら、彼を助けてあげられたかもしれない。
- 4 あと少しで合格できたのに。もうちょっとがんばればよかった。
- 5 タクシーで行けばよかった。そうすれば間に合ったかもしれない。
- 6 友だちを怒らせてしまった。あんなこと、言わなければよかった。

## 11 使役形を使った表現

意味 ①許可、許容

- ㊦ 1 子どもが習いたいというので、ピアノを習わせることにした。
- 2 アルバイトをしたいのだが、親が高校生の間はだめだと言って、させてくれない。
- 3 子どものころ、親にマンガを読ませてもらえなかった。

意味 ②そのつもりはなかったが、悪い結果になってしまう

- ㊦ 1 冷蔵庫に肉があるのを忘れていて、腐らせてしまった。
- 2 子どもを病気で死なせてしまった。

## 使役形+てもらう など

意味 ①許可をもらう

- 1 母が入院したので、きょうは仕事を休ませてもらった。
- ㊦ 2 「すみません、体調が悪いので、早く帰らせてください」
- 3 「先生がいらっしゃるまで、ここで待たせてもらってもいいですか」
- 4 「すみません、ここに荷物を置かせてもらえませんか」
- 5 「3年ほど、アメリカの工場に行つてほしいんだが」  
「そのお話、少し考えさせていただけませんか」

意味 ②～してもらって、感謝している

- 1 私の家は貧しかったが、親は私を大学まで行かせてくれた。
- 2 けがをして手が使えないので、姉にごはんを食べさせてもらった。
- 3 電車の中で急に倒れそうになり、前にいた人に頼んで、座らせてもらった。
- ㊦ 4 「きょうはすばらしいお話を聞かせていただき、本当にありがとうございます」

## 12 自動詞を使った表現

**意味** ものの性質、状態などを表す

- 1 このかばんは軽くてたくさん入るので、旅行に便利だ。  
 2 この漫画はよく売れている。人気があるのだろう。  
 3 「壊れやすいものですから、気をつけて運んでください」  
 4 私の髪はパーマがかかりにくいんです。  
 5 この包丁はよく切れる。

### 復習 ～さ

- ・長さ / 重さ / 高さ / 厚さ を測る。
- ・この地方は暑さ、寒さの差が大きい。
- ・都会には都会の、田舎には田舎の良さがある。
- ・冷凍すると、新鮮さを保つことができる。

## 13 ～み

**意味** イ形容詞・ナ形容詞を名詞にする ～と感じられる性質・状態を表す

ただし、「み」が付く形容詞はあまり多くない

**接続** 【イ形容詞・ナ形容詞】 \_\_ づみ

- 1 ・丸みを帯びた形 ・青みを帯びた白 ・厚みのある板  
 2 校長は入学式で毎年同じことを言っている。ぜんぜん新鮮みがない。  
 ○ 3 「お会いできる日を楽しみにしています」

## 14 ～のではないだろうか／ないかと思う

**意味** 意見、主張

**接続** 名詞＋な / 【動詞・イ形容詞・ナ形容詞】 の名詞修飾形

- 1 道が通んでいる。これでは間に合わないのではないだろうか。  
 2 この仕事を6時までに終わらせるのは無理なのではないだろうか。  
 3 AチームよりBチームのほうが強いのではないかと思う。  
 4 彼は犯人ではないのではないかと思う。  
 5 木村さんは知らないと言ったが、本当は知っていたのではないだろうか。

### ～んじゃない？／んじゃないかと思う

**意味** 「～のではないだろうか」の会話的な表現

- 1 「山田さんへのプレゼント、何がいいと思う？」  
 「山田さんは甘いものが好きだから、おいしいお菓子がいいんじゃない？」  
 ○ 2 「木村さん、遅いね」「もしかしたら、約束を忘れてるんじゃない？」  
 3 「林さん、きょう会議があることを知らないんじゃないかと思うんですけど」

### 復習 ～ちゃ／じゃ ～ちゃう／じゃう

- 1 ～ては→ちゃ ～では→じゃ  
 ・「これから遅刻しちゃいけませんよ」  
 ・「そんなにお酒を飲んじゃだめだよ」  
 2 ～てしまう→ちゃう ～でしまう→じゃう  
 ・「宿題、まだでしょ。早くやっちゃいなさい」  
 ・「このまんが、おもしろくて、1日で読んじゃった」



## ①～ている→てる ～でいる→でる

- 1 「あそこに座<sup>すわ</sup>ってる人、だれ？」  
 2 「すぐ行くから、先<sup>さき</sup>に行<sup>い</sup>ってて」  
 3 「どうしたの。泣<sup>な</sup>いて<sup>は</sup>ちやわからないよ。理<sup>り</sup>由<sup>ゆう</sup>を言<sup>い</sup>ってくれなくちゃ」

## ②～ておく→とく ～でおく→どく

- 1 「来週までにこの本、読<sup>よ</sup>ん<sup>ど</sup>い<sup>て</sup>く<sup>だ</sup>さい」  
 2 「これ、どこに片<sup>かた</sup>付<sup>つ</sup>けるんですか」「机<sup>か</sup>の上<sup>う</sup>に置<sup>お</sup>い<sup>て</sup>い<sup>い</sup>よ」  
 3 「大<sup>だい</sup>切<sup>せつ</sup>なことはメ<sup>め</sup>モ<sup>も</sup>し<sup>て</sup>い<sup>て</sup>く<sup>だ</sup>さい」  
 4 「夏休<sup>なつやすみ</sup>みに海外旅行<sup>かいがいりょこう</sup>に行くんでしょ。早<sup>はやく</sup>くパスポート取<sup>と</sup>っ<sup>と</sup>か<sup>な</sup>い<sup>と</sup>、間<sup>ま</sup>に合<sup>あ</sup>わ<sup>な</sup>い<sup>よ</sup>」

## ③～なければ→なきや

- 1 もっと勉強<sup>べんきょう</sup>し<sup>な</sup>き<sup>や</sup>、合<sup>ごう</sup>格<sup>かく</sup>で<sup>き</sup>な<sup>い</sup>だ<sup>ら</sup>う<sup>な</sup>。  
 2 そろそろ起<sup>お</sup>き<sup>な</sup>き<sup>や</sup>遅<sup>おそ</sup>刻<sup>こく</sup>し<sup>ち</sup>や<sup>う</sup>。  
 3 「ジュースはもっと冷<sup>ひや</sup>た<sup>く</sup>な<sup>き</sup>やお<sup>い</sup>し<sup>く</sup>な<sup>い</sup>よ」

④～なくては(いけない)→なくちゃ(いけない)  
～なければ(ならない)→なきや(ならない)

- 1 「そろそろ帰<sup>かえ</sup>ら<sup>な</sup>く<sup>ち</sup>や。遅<sup>おそ</sup>く<sup>な</sup>ると母<sup>はは</sup>が心<sup>しん</sup>配<sup>ぱい</sup>するから」  
 2 もうこんな時間<sup>じかん</sup>。早<sup>はやく</sup>く行<sup>い</sup>か<sup>な</sup>き<sup>や</sup>。  
 3 「元<sup>もと</sup>気<sup>き</sup>になるためには、も<sup>も</sup>っ<sup>と</sup>食<sup>く</sup>べ<sup>な</sup>き<sup>や</sup>だ<sup>め</sup>だ<sup>よ</sup>」

9 「すみません、ちょっと \_\_\_\_\_ ものがあるんですけど」

10 「買<sup>か</sup>わ<sup>な</sup>い<sup>ん</sup>で<sup>す</sup>か」「ええ、も<sup>も</sup>う<sup>う</sup>少<sup>せう</sup>し \_\_\_\_\_ 買<sup>か</sup>う<sup>ん</sup>で<sup>す</sup> \_\_\_\_\_」

も<sup>も</sup>う<sup>う</sup>少<sup>せう</sup>し時<sup>じ</sup>間<sup>かん</sup>が \_\_\_\_\_、全<sup>ぜん</sup>部<sup>ぶ</sup>で<sup>き</sup>た \_\_\_\_\_。

11 子<sup>こ</sup>ど<sup>も</sup>が習<sup>し</sup>い<sup>たい</sup>というので、ピ<sup>ひ</sup>ア<sup>あ</sup>ノを \_\_\_\_\_ こと<sup>に</sup>した。

冷<sup>れい</sup>蔵<sup>そう</sup>庫<sup>こ</sup>に肉<sup>にく</sup>があるのを忘<sup>わす</sup>れ<sup>て</sup>い<sup>て</sup>、 \_\_\_\_\_ し<sup>ま</sup>っ<sup>た</sup>。

「すみません、体<sup>てい</sup>調<sup>じょう</sup>が悪<sup>わる</sup>いので、早<sup>はやく</sup>く \_\_\_\_\_」

「き<sup>き</sup>ょうはすばらしいお話を \_\_\_\_\_、本<sup>ほん</sup>当<sup>たう</sup>にありが<sup>ご</sup>う<sup>ご</sup>ざ  
い<sup>ま</sup>す」

12 このかばんは軽<sup>かろ</sup>くてた<sup>く</sup>さ<sup>ん</sup> \_\_\_\_\_ ので、旅<sup>りょ</sup>行<sup>こう</sup>に便<sup>べん</sup>利<sup>り</sup>だ。

13 「お会<sup>かい</sup>い<sup>で</sup>き<sup>る</sup>日<sup>ひ</sup>を \_\_\_\_\_ に<sup>し</sup>て<sup>い</sup>ま<sup>す</sup>」

14 道<sup>みち</sup>が込<sup>こ</sup>んで<sup>い</sup>る。こ<sup>れ</sup>で<sup>は</sup>間<sup>ま</sup>に合<sup>あ</sup>わ<sup>な</sup>い \_\_\_\_\_。

「木<sup>き</sup>村<sup>むら</sup>さん、遅<sup>おそ</sup>い<sup>ね</sup>」「も<sup>も</sup>し<sup>か</sup>し<sup>た</sup>ら、約<sup>やく</sup>束<sup>そく</sup>を忘<sup>わす</sup>れ<sup>て</sup>い<sup>る</sup> \_\_\_\_\_？」

15 「すぐ行くから、先<sup>さき</sup>に \_\_\_\_\_」

「来<sup>らい</sup>週<sup>しゅう</sup>ま<sup>で</sup>にこの本<sup>ほん</sup>、 \_\_\_\_\_ く<sup>だ</sup>さ<sup>い</sup>」

そ<sup>そ</sup>ろ<sup>ろ</sup> \_\_\_\_\_ 遅<sup>おそ</sup>刻<sup>こく</sup>し<sup>ち</sup>や<sup>う</sup>。

「そ<sup>そ</sup>ろ<sup>ろ</sup> \_\_\_\_\_。遅<sup>おそ</sup>く<sup>な</sup>ると母<sup>はは</sup>が心<sup>しん</sup>配<sup>ぱい</sup>するから」

## I ( ) にひらがなを1字ずつ書きなさい。

- 親( )は長生きしてもらいたいと思う。
- 親は私( )大学まで行かせてくれた。
- 田中さんは鈴木さん( )1時間待たされました。  
=田中さんは鈴木さん( )1時間待ちました。  
=鈴木さんは田中さん( )1時間待たせました。
- このあいだ、犬を買いました。大き( )はこれぐらいです。
- 帰国して友だちと会るのが楽し( )だ。
- このあたりの冬は寒( )が厳しい。
- 夜になって、痛( )がだんだん強くなってきた。

## II ( ) の言葉を適当な形にして\_\_\_\_に書きなさい。

- もう少し\_\_\_\_\_ば買うんですが。(安い)
- きのうのパーティー、あなたも\_\_\_\_\_ばよかったのに。(来る)
- あと5歳\_\_\_\_\_たら、世界記録が出せたかもしれない。(若い)
- もっと英語が\_\_\_\_\_たらよかったのだが。(じょうず)
- すみません、体調が悪いので、早く\_\_\_\_\_ください。(帰る)

## III [ ] の中から、正しいものを選びなさい。

- けさ電車の中で足を[a. ふまれ b. ふませ c. ふまされ]で痛かった。
- 今年の正月は久しぶりに国へ帰って両親を[a. 喜ばれ b. 喜ばせ c. 喜ばされ]よう。
- 小さいころ、私は気が弱かったので、よく友だちに[a. 泣かれ b. 泣かせ c. 泣かされ]た。
- すみません、ここに[a. 座られて b. 座らせて c. 座らされて]もらえますか?
- 姉が私に薬を[a. 飲まれて b. 飲ませて c. 飲まされて]くれた。
- 私は留学したいのに、父が[a. 行かせてもらえない b. 行かせてくれない c. 行ってもらえない]んです。
- 私が書いた作文を[a. 見て b. 見せて c. 見せられて]ほしいんですけど。
- あなたの意見を[a. 聞かれて b. 聞かせて c. 聞かされて]ください。

- 狭い部屋で何時間もたばこのけむりを[a. 吸われて b. 吸わせて c. 吸わされて]、気分が悪くなった。
- 子どもの誕生日なので、好きなものを[a. 食べられて b. 食べさせて c. 食べさせられて]やりたいと思う。
- 「すみません、あした[a. 休まれて b. 休ませて c. 休まされて]いただきたいんですが」  
「うーん、急に[a. 休まれると b. 休めると c. 休まされると]困るんだよね」

## IV 正しいものに○をつけなさい。

- シャツのボタンが[取れ 取り]そうだ。
- これは大きすぎて、そのバッグには[入れない 入らない]だろう。
- さいふを[落ちて 落として]しまった。
- 窓ガラスを[割れた 割った]人はだれですか。
- このはさみはよく[切る 切れる]。
- この川は魚がたくさん[つる つれる]そうだ。
- 「あの部屋、だれもいないはずなのに、電気が[ついてます つけています]よ」  
「すみません、[消える 消す]のを忘れました」
- 「山田さんは行くでしょうか」「さあ、[行くんじゃ 行かないんじゃ]ないですか。  
忙しいから無理だろうと言っていましたから」
- この本は難しい言葉が多いので、初級の学生には[難しいではないか 難しいのではない]か 難しいのではない]と思う。

## V 例のように、縮約形にする前の形を書きなさい。

例：失敗しちゃった。  
      してしまった

- 冷蔵庫に入れといて。
- 早く起きなきゃ、遅刻しちゃう。
- 全部飲んじゃいなさい。
- 先に行って、席、取っといて。
- 黙ってちゃわからないよ。理由を言っくれなきゃ。